

## 建築計画委員会「小委員会委員」公募

建築計画委員会では、下記の小委員会委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領にしたがい、ふるってご応募ください。

### ■募集要領

下記 (1) (2) を作成のうえ E-mail にてご提出ください。

(1) 希望の委員会名

(2) 応募者について

- ①会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野
- ②現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無（有の場合は委員会名を記すこと）
- ③希望委員会で果たせる役割（1,000 文字以内）
- ④希望委員会に関連する業績（1,000 文字以内）

**委員任期** 承認日～2018年3月

**応募締切** 2016年3月10日（木）必着

**採 否** 委員会で決定のうえ本人に通知します。

**提出先** 事務局事業 G 榎本 E-mail : [enomoto@aij.or.jp](mailto:enomoto@aij.or.jp)

.....

### ■住宅計画小委員会 [住宅計画運営委員会]

**主 査** : 山口健太郎 (近畿大学)

**募集人数** : 若干名

**設置期間** : 2016年4月～2020年3月

**活動目的** : 本小委員会では、現代の「住居・住宅地」に関わる研究課題の整理や、住宅関連学会および設計事務所等との意見交換会を通じて、これからの住宅計画のあり方について研究を行っている。特に、居住の安定確保、減災、安心・安全な住宅・住宅地づくりに焦点をあて活動を行っている。

### ■高齢者・障がい者等居住小委員会 [住宅計画運営委員会]

**主 査** : 阪東美智子 (国立保健医療科学院)

**募集人数** : 3名

**設置期間** : 2016年4月～2020年3月

**活動目的** : 地域包括ケアシステムの要となる「すまいとすまい方」について、高齢者・障がい者等が地域で住み続けられる住まいの要件を整理し、在宅医療・在宅介護を視野に入れた住宅計画に関する資料の作成と情報発信を行う。

#### ■比較居住文化小委員会 [住宅計画運営委員会]

**主 査**：前田昌弘（京都大学）

**募集人数**：若干名

**設置期間**：2016年4月～2020年3月

**活動目的**：人・物・情報が世界規模で行き交い、暮らしの質が劇的に変化している現代において、フィールドワークによる居住文化の研究および、それをもとにした多様な展開を推進することを目的とする。居住文化研究に関連する研究会の開催、フィールドワークの方法論を紹介する書籍の刊行、居住文化研究に関する情報発信などに取り組む。なお、研究対象とするフィールドは国内外を問わない。

（参考：委員会 HP <http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s25/>）

#### ■コミュニティ居住小委員会 [住宅計画運営委員会]

**主 査**：新井信幸（東北工業大学）

**募集人数**：3名

**設置期間**：2016年4月～2018年3月

**活動目的**：「居住の安定」を達成するための研究・実務の枠組みを幅広く整理・検討・提案することを活動目標としている。東北地方の復興支援活動に関わる委員も多く含まれている。住宅計画・政策、施設計画・居住福祉、都市計画・まちづくり、などの横断的な視点を持ちながら取り組んでいきたい。

#### ■ライフスタイル小委員会 [住宅計画運営委員会]

**主 査**：小池孝子（東京家政学院大学）

**募集人数**：3名

**設置期間**：2016年4月～2018年3月

**活動目的**：本小委員会では個人や家族の生き方や生活のあり方に注目した研究活動をおこなう。近年、家族員の減少に対応し、住宅の外部で互いの生活を支える活動が活発になってきている。そうした活動が行われる場を広義での住まいの一部ととらえ、そこでの活動を含めた住まいの形態、暮らし方について「社会化・外部化する住まいと暮らし」をテーマに建築計画の方向性を検討する。

#### ■地域施設計画小委員会 [施設計画運営委員会]

**主 査**：広田直行（日本大学）

**募集人数**：4名

**設置期間**：2016年4月～2018年3月

**活動目的**：各種建物の計画から地域の計画、都市から農村までの多様な地域施設の計画を、横断的に研究・計画する必要性に対して、研究・計画方法の進展をはかるために小委員会を設置し、研究発表活動を行う。

#### ■安全計画小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：桑名秀明（鹿島建設(株)）

募集人数：4名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：建築の新しい形態や使われ方、また技術の進歩に伴い発生する危険要因を抽出し、それに対応した建築の安全計画の考え方と計画方法を提案することによって、合理的で効果的な建築の安全性を実現することを目的とする。

#### ■建築人間工学小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：後藤義明（岡山理科大学）

募集人数：3名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：当小委員会は、建築空間の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の研究活動し、得られた知見を社会に提言することを目的とする。特に、近年の社会的動向を鑑みて、多様なユーザーの特性をふまえて多面的に検討する。

#### ■空間研究小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：鈴木弘樹（千葉大学）

募集人数：若干名

設置期間：2016年4月～2020年3月

活動目的：建築・都市空間についての研究全般における様々な調査方法や分析方法を採り上げ、その有効性や可能性を検討し空間研究の新しい発展を目指す。その成果については、研究会・シンポジウムや出版物により広く公開する。

#### ■環境行動研究小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：橘 弘志（実践女子大学）

募集人数：3名

設置期間：2016年4月～2020年3月

活動目的：環境行動研究的視点から、実際に体験される環境・場所の質を分析・評価するための理論構築を行い、人と環境との豊かな関係を紡ぎ出す環境・場所の創出・維持を目指す。

#### ■情報設計小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：湯本長伯（神戸大学）

募集人数：3名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：情報設計小委員会は、設計の実務に関わる委員を中心に、設計をその扱う情報とそ

れを用いた方法との2つの側面から研究考察して、実際の設計活動にフィードバックすることをミッションとする研究委員会です。なお当小委員会は建築計画本委員会に属していますが、委員会研究活動の性格上、設計者・建築計画研究者に限らず、構造設計・環境設計の実践者・研究者も歓迎しています。

#### ■ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：松田雄二（東京大学）

募集人数：若干名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：本小委員会は、「高齢者」「障害者」等を含んだ、多様化する建築利用者（ユーザー）のニーズを汲み取り、それを建築デザインへ反映させる手法の構築に向けた、理論と実践の両面における研究活動の実施を目的とする。

#### ■各部構法小委員会 [構法計画運営委員会]

主 査：小見康夫（東京都市大学）

募集人数：2名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：建築の構法研究者・実務者等が個別に保有する、建築各部構法に関連する写真・画像データの資産を、制限を設けつつ互いに共有・活用するための「構法画像共有データベース」のプラットフォームづくり、及び具体的な構法データの交換を行う。

#### ■木造建築構法小委員会 [構法計画運営委員会]

主 査：権藤智之（首都大学東京）

募集人数：2名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：木造建築構法関連分野の広がりや加工機やCADの分野における近年の進展に関する研究、民家の建築計画に関する研究、内外の関連研究成果発表会を通じて最新の研究成果を共有し、今後の研究の方向性を見出すことを目的とする。

#### ■オープンビルディング小委員会 [構法計画運営委員会]

主 査：村上 心（椋山女学園大学）

募集人数：3名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：膨大な既存建物ストックを少ない環境負荷で長期にわたり効果的に改修・転用する技術体系を確立することが世界的な課題である。本小委員会では、国際的に確立されたオープンビルディングの計画手法をこの課題に応用する研究を展開する。

■公共施設マネジメント小委員会 [設計計画運営委員会]

主 査：池添 昌幸（福岡大学）

募集人数：若干名

設置期間：2016年4月～2018年3月

活動目的：人口減少時代における公共施設マネジメントのビジョン提示を目標として、公共施設の再編・再配置、既存施設の再生・活用、公共サービスの提供方式、居住・市街地再編との連携等の研究課題に取り組む。

■EBD (Evidence-Based Design) 小委員会 [設計計画運営委員会]

主 査：岸本達也（慶應義塾大学）

募集人数：若干名

設置期間：2014年4月～2018年3月

活動目的：建築・都市空間のデザインにも性能評価に基づく根拠が求められます。デザインの根拠を体系化するために、教育、医療、ワークプレイス、景観、住宅、計画基礎などの異なる分野の研究者が協力して調査・研究を進めています。